

# アコモード タイムズ

第35号



編集・発行

## 社会福祉法人 アコモード

- 特別養護老人ホーム アコモード
- アコモード指定居宅介護支援事業所
- アコモードヘルパーステーション
- アコモード指定訪問入浴介護事業所
- デイサービスセンター アコモード
- ケアホーム アザレアⅠ・Ⅱ
- 特別養護老人ホーム アクウィール
- デイサービスセンター アクウィール
- キッズルーム アクウィール
- アンジェリカ保育園
- 我孫子市老人福祉センターつつじ荘
- 我孫子市布佐・新木地区地域包括支援センター
- アコモード相談支援事業所

千葉県我孫子市布佐1559-2

Tel.04(7189)5201・Fax.04(7189)5203

# くるみんマーク

社会福祉法人アコモードとして平成23年から3年間の予定で「一般事業主行動計画」を策定しました。これは子育て中の職員が働きやすい職場であることや、ワークライフ

バランスを考えながら働くことができるように体制を整える行動計画です。具体的な取り組み内容は、ノー残業デーの設定・有給休暇取得・託児所の設置です。これらの目標



に対して職員みんなで取り組みを行ったところ、当初設定していた期間よりも早く目標達成することができました。

策定・実施し目標の達成など一定の要件を満たしたため、我孫子市内で2番目の認定事業主となり「くるみんマーク」を取得しました。

今年度から、第2期として、さらに職員一人ひとりが生き生きと働きやすい職場となるように取り組んでいきます。働きやすい職場がご利用者への支援の質の向上に結びつくよう職員一同心がけたいと思います。

# もうすぐ一周年！ アクイール

**しずく・てまり**

アクイール正面玄関より右側奥にあるユニット「しずく・てまり」です。

入居当初は、環境の変化等により、不安を感じながら生活されていた方も、時間が経つにつれご利用者同士顔馴染みの良い関係ができ、お一人お一人が、それぞれのペースで一日を過ごされていらっしゃると思います。

施設の東側に面している為、元日には「初日の出」を拝む事ができました。春には、川村学園に外出し、綺麗な桜並木に惚れ惚れときました。ご利用者と共に四季を感じながら過ごすことができました。

花言葉で、しずく＝白い薔薇  
↓尊敬、てまり＝桃色の薔薇  
↓愛を持つという意味があるそうです。昨年よりです。昨年よりも今年が：昨日よりも今日が：「尊敬・愛」を大切にし、より素敵な日々になるようにと思っています。



**わたぼうし・いおり**

アクイールの二階のE.V.をおりて、左奥にある二つのユニットが私達「わたぼうし・いおり」ユニットです。私達は、季節毎の行事、外出や月々の誕生日会等様々なイベントを両ユニットで行い、ユニット間で協力し合い、ご利用者ご家族様が気軽に引き来できる雰囲気づくりを開発当初から行っています。

また、ご利用者との信頼関係の構築はもちろんの事、ご家族様との関わりも大切に考えています。昨年12月にはクリスマス会を開き、その際にはご家族様のご厚意によりお琴の演奏を披露して頂いたり、コカリナの演奏も披露して頂きました。現在は一階のロビーにて定期的に喫茶店を開いて頂いており、ご利用者はもちろんのことユニット職員も楽しい時間を一緒に過ごさせて頂いております。

今後もお利用者とそのご家族様と一緒に笑顔で過ごしていけるよう、また今までの出会い、これからの出会いを大切に皆様と生活していきたいと思っています。



**多床・ショートステイ**

アクイール多床室は、ひときわ広いロビーを有する2階にあります。定員が長期ご利用者40名、ショートステイご利用者10名で合わせて50名のご利用者が過ごされています。

目標として掲げております「ケアの向上」は、より良いケアをさせて頂く為に永遠のテーマだと思っております。加えて「楽しく過ごして頂く」も目標に掲げており、カラオケ、季節の折り紙や塗り絵、運動を兼ねたボール遊び等を行っておりますが、定期的に行えないこともあり「退屈されているのでは」と案じております。

先日、2階のテラスにてシャボン玉を楽しみ、皆さんから笑顔がこぼれていました。

職員一同、ご利用者ももっともっと笑顔で楽しく過ごせるように努めてまいります。



## 相談員

特別養護老人ホームアクイールは、9月1日に開設一周年を迎えます。開設準備から振り返りますと、皆様に支えられながら、目の前の仕事をこなすのに夢中で、あつという間に時が過ぎた一年だったように思います。

「見学のご利用者をご案内すると、必ずと言っていいほど皆様が「広くてきれいですね」「明るいですね」とおっしゃって下さいます。アクイール職員も、建物の環境に負けないように、介護の質を向上・充実させるよう取り組んで参りましたが、まだまだ道は遠いと感じております。

今後とも「おもてなし」のこころを実践できるよう、職員一同精進して参りますのでどうぞよろしくお願い致します。



開設してから一年近くの間、「こまち・ゆうぜん」は様々なイベントを行ってきました。

新年会での、書初め、ホットケーキ作りでは、積極的に文字を書いて頂き、ホットケーキも美味しく召し上がっていただきました。

お花見では強い風が吹いていたにもかかわらず、喜んでくれたご利用者も多く、写真を見たご家族から「こんな笑顔は久しぶりに見ました」との声も聞かれました。他にも餃子パーティーや母の日は手作りカーネーションをお渡ししました。

まだまだ足りない事も多いですが、これからもご利用者から多くの笑顔を引き出せるようスタッフ一同力を合わせていきたいと思っております。



## こまち・ゆうぜん

## デイサービス

アクイールデイサービスでは、ご利用者本人の意思決定を尊重し、選択レクを導入してきました。始めは工作と体操が中心でしたが、徐々にバリエーションが増え、今では書道と散歩レクも追加されました。二、三人での散歩レクは特に好評でした。肌で季節を感じ、普段あまりお話をされない方同士でも、散歩を通じ交流を深めて下さいました。

他にも、毎週水曜日に行っているキッズルームの子供達との定期交流で世代間交流を図ったり、昼食持ち出しのお花見や、デイルーム内寿司屋といったお食事レクも行いました。企画を立案、実施することで職員同士も結束力が固まり、成長させていたいただきました。

これからもご利用者やご家族のニーズにお応えし、「また行きたい」と思っていただけのデイサービスにしていきたいので、宜しくお願い致します。



# 避難訓練

平成23年3月11日、福島沖を震源としたマグニチュード9という大地震が東日本を襲い甚大な被害をもたらした震災から、3年が経過した今、残念なことにも震災自体が風化し始めている様相も感じられます。私たちは、震災から学んだ『協力しあいながら災害を乗り越えていく』ことの大切さを忘れないようにしなければいけません。そのためアコモードではいろいろな状況で起こる災害に対応するために定期的な訓練を重ねています。

今回の「夜間帯に地震発生後、火災発生」を想定しての避難訓練では、ご利用者のご協力をいただき、職員全員が地震発生時に迅速な対応をとる訓練を行いました。

訓練を終え、限られたスタッフで大勢のご利用者を安全な場所に避難させることの難しさを改めて実感。日頃からの災害に対する備えがいかに重要かを再確認し、さらに安全に避難していただけるよう業務に取り組んでまいります。



# 高齢者の徘徊について

先日のテレビ放送によると、認知症やその疑いがあり、徘徊などで行方不明として警察に届けられた方は、おとし一年間で全国約一万人との放送がありました。

平成25年度、我孫子市では、外出すると戻れないような徘徊による行方不明者の届け出は七名で、(全員発見されています)、そのうち介護認定を受けている方は六名でした。

我孫子市には、平成8年度から行方不明となった方の特徴を記載したFAXを市内の協力機関(公共機関、交通機関、コンビニ、ガソリンスタンド等)に送り、早期発見と保護を目指す「SOSネットワーク」システムがあります。

まず、警察に捜索願が出され、家族から希望があれば協力機関にFAXが送付されます。さらに希望があれば防災無線で特徴をお知らせし、登録されている方にはメール

ルも送信されます。

その他にも、我孫子市より徘徊探知機の貸し出し(一カ月五百円の負担。ただし、収入状況によっては無料)、介護保険ではセンサーマットや送信機の前を通過するとチャイムが鳴る徘徊感知機器等のレンタルがあります。

また、第一発見者は地域住民となる可能性も高いため、地域で徐々に広がりつつある見守り体制も非常に重要となって来ています。

徘徊される方の対応は、何故そのようなことが起こるのか、これまでの人間関係やその方の生活状況などを総合的にみることで対応を検討しなければなりません。ご家族の方は周囲に知られたくない思いがある方もいらっしゃると思いますが、抱え込まずになんでも相談室他、関係機関にご相談してみてください。

布佐・新木地区高齢者なんでも相談室

04-7189-0294

# 食育 アンジェリカ保育園

国が定めた園児へ教えることのひとつに「食育」があります。年少クラスからお箸の持ち方や、食器の並べ方、出汁(だし)の味見、野菜の皮むきなどを管理栄養士と担当保育士が協力し、計画を立て行っています。

どのテーマも好評ですが、特に楽しみにしているのは野菜作りです。園児の希望により、ミニトマト、パプリカ、キュウリ、ナス、ラディッシュを植え



ました。ラディッシュは別名二十日大根の名の通り、ほぼ二十日で収穫できました。秋にはつじ庄でサツマイモ掘りをする予定です。



# 口腔ケアの重要性

## 《口腔ケアとは》

一般に「口腔ケア」というと、歯磨きや義歯磨きなど、口の中をきれいにする口腔清掃がイメージされます。しかし「口腔ケア」とはもっと広い意味を持っており、口に関係する働き(口腔機能)の中で最も基本的な「嚥むこと」「飲み込むこと」「話すこと」「呼吸すること」などを維持・向上させるためのケアや訓練なども含まれます。

口腔機能には、この他に表情をつくることと唾液の分泌なども含まれます。なお、専門的には口の中をきれいにすることを「器質的口腔ケア」といい口の機能を維持・向上させる為のケアを「機能的口腔ケア」といいます。

## 《口腔の清掃 (器質的口腔ケア)》

- 口腔清掃用具・環境の整備
- 歯や歯肉などの清掃
- 義歯の清掃
- 舌・口蓋の清掃
- 保湿

## 《口腔機能向上 (機能的口腔ケア)》

- 嚥下体操(健口体操)
- 深呼吸、首肩の緊張緩和
- 口唇や頬の運動
- 舌の運動
- 発声練習(パタカ)
- 唾液腺マッサージ
- 咀嚼・咳の訓練

## 《パタカ発声》

「パ」は音を唇で破裂させるので唇の働きを良くする  
 「タ」は舌の先を上あごの前に付けて発音するので舌の先の働きを良くする。  
 「カ」は舌の奥の方を上にあけて発音するので奥舌の働きを良くする。  
 いずれも飲み込みを良くする運動です。



★パタカを使って発声をしてみましょう  
 大きな声で、しっかり口を開けてリズムよく  
 パパパパ タタタタ カカカカ  
 ララララを3回繰り返す。

## 脱水・熱中症に 注意してください

毎年の事になりましたが、じめじめと蒸し暑い日が続き熱中症状をおこしやすい時期になりました。恒例の経口補水液の作り方を紹介させていただきます。

### 家庭でできる経口補水液の作り方

- ★水 1リットル
  - ★砂糖 40g (大きじ4と1/2)
  - ★塩 3g (小さじ1/3)
  - ★レモン果汁 25~50cc (大きじ1.5~3)
- ※冷やすと飲みやすいですが凍らせないでください。
- 水の25倍・大手スポーツ飲料の約10倍の吸収率があります。

学童・成人(高齢者含む) : 500~1000ml  
を目安に、ゆっくり少しずつ飲むのがポイントです。

※食事・水分制限のある方はご注意ください。

軽い水分不足は自身で気付かなく、外気の暑さに対応するために体の水分も多く使われます。経口補水液で水分のこまめな摂取を行ってください。

## 法人内 連絡体制整備

社会福祉法人アコモードでは、大規模災害時等やその他に起こる不測の事態に備え、一般固定電話・携帯電話の使用が制限された際でも法人職員全員に一斉メールを配信する連絡体制を整備いたしました。またメールの送受信が制限されるような災害発生の際には、災害伝言ダイヤル1771を利用することで全職員が指示を受け取り行動をとります。

体制を整えた事により災害時に出動していない職員にも、時間のロスなく指示が行き渡るので、一刻を争う事態でも迅速な対応を取ることができるようにになりました。



## 資格取得者

### ◆介護福祉士

- |       |       |
|-------|-------|
| 石川 奈月 | 遠藤 昭仁 |
| 長田 怜子 | 川田 可奈 |
| 神崎 智典 | 小山 晃平 |
| 高木 昌子 |       |

### 「資格を取得して」

アコモード特養 石川 奈月

私は介護福祉士の資格取得に何度か挑戦して落ち込むこともありましたが、講習に参加して基礎を一から学んだり、仕事ではなかなか知る事のできない福祉の歴史を学んだりと勉強する機会を与えてくださった事は本当に感謝しています。普段仕事をしていると基礎を忘れてしまいがち、自分の慣れたやり方でやってしまうことが多かったのですが、基礎の大切さを学び、考えを改めて介護を行えるようになりました。

長く勤めているとつい忘れがちなことですが、基礎がきちんとできていないといいサービスも提供できません。介護福祉士の勉強で学んだことを思い浮かべながら仕事に活かしていけるよう頑張っていきたいと思えます。

## 出産報告

お健やかな成長をお祈りしています

●旭田 炎志さん  
長男 淑阿くん

平成26年3月29日生



## あとがき

各地で大きな被害をもたらした梅雨も明け、青空がこれからくる太陽の季節を感じさせてくれます。暑い夏の日差しに負けない体力作りをしましょう。

私たちは、入居者の皆様の笑顔が元気の源です。その笑顔のためにがんばっていきます。

(広報委員一同)